



橋本雅也
あわい
間なるもの

2014年5月24日(土) →
2014年8月31日(日)

展覧会名	橋本雅也 <small>あわい</small> 間なるもの		
会期	2014年5月24日(土) → 8月31日(日)		
	開場時間 / 10時~18時(金・土曜日は20時まで)		
	休場日 / 毎週月曜日(ただし、7月21日、8月11日は開場)、7月22日		
会場	デザインギャラリー		
料金	入場無料	出品点数	15点
	主催 金沢21世紀美術館 [公益財団法人金沢芸術創造財団]		
協力	ロンドンギャラリー		
お問い合わせ	金沢21世紀美術館 TEL076-220-2800		

展覧会について

「橋本雅也 ^{あかい} 間なるもの」では代表的なふたつのシリーズを紹介する。

ひとつは花のシリーズである。鹿の骨と角から生まれた彫刻で、誕生は一頭の鹿の死から始まる。橋本は猟師に同行し、冬山で一頭の鹿の死に立ち会う。鹿は、骨、肉、皮となって、橋本の元に残った。白い花を彫り、スイセン、さくらなどの作品となった。2010年の作である。

もうひとつは橋本自身が断髪した髪をモチーフにして制作した髪飾りの作品である。自身の存在論的問いかけが髪を仲介して作品となった。大きくても15,6センチほどのサイズで、水牛の角と漆で出来ている黒くつややかな作品である。2009年の制作である。



《セイヨウバラ、カタバミ、イワガネゼンマイ、ヒメヤブラン、イワタバコ、ムクゲ、ヒルガオ、ツキミノウ、アイビー、ヘデラ》2010
鹿角, 鹿の骨
金沢21世紀美術館蔵
写真: 渚忠之

関連プログラム

アーティストトーク

[出演] 橋本雅也(進行:秋元雄史)

[日時] 5月24日(土) 14:00~15:30

[会場] 金沢21世紀美術館レクチャーホール

[料金] 入場無料 [定員] 60名 ※事前申込制

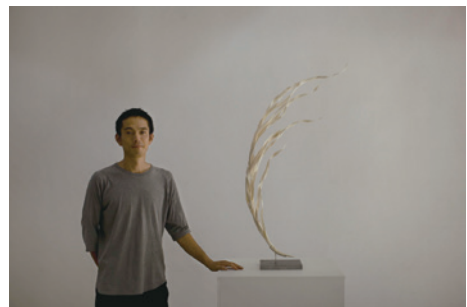
[申込] 5月10日(土)午前10時よりウェブサイトにて申込受付(先着順) <http://www.kanazawa21.jp>

※都合により、イベントの内容を変更する場合があります。最新情報は当館ウェブサイトにてご確認ください。

作家プロフィール

橋本雅也(はしもと・まさや)

1978年岐阜県高山市生まれ。独学で彫刻の技術を習得し、制作を続ける。主な個展に2009年「Bouef」(Silke & The Gallery, ベルギー)、2012年「殻のない種」(ロンドンギャラリー)、グループ展に2012年「古代礼賛、中世礼賛」展(正木美術館)、2013年「メメントモリー愛と死を見つめてー」(ロンドンギャラリー)、「第2回 金沢・世界工芸トリエンナーレ 工芸におけるリージョナルなもの」(金沢21世紀美術館)、「Taiwan・Japan-Contemporary Craft and Design/Craft in Flux 2nd International Triennale of Kougei in Kanazawa Exchange Exhibition in Taiwan」(国立台湾工芸研究所 台湾)



広報用画像

画像1～4を広報用にご提供致します。

ご希望の方は下記をお読みの上、広報室へお申し込みください。 Email: press@kanazawa21.jp

<使用条件>

※広報用画像の掲載には各画像のキャプション、クレジットを必ずご表示ください。

※トリミングはご遠慮ください。キャプション等の文字が画像にかぶらないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正用原稿を広報室へお送りください。

※アーカイブの為、後日掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。

以上、ご理解・ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

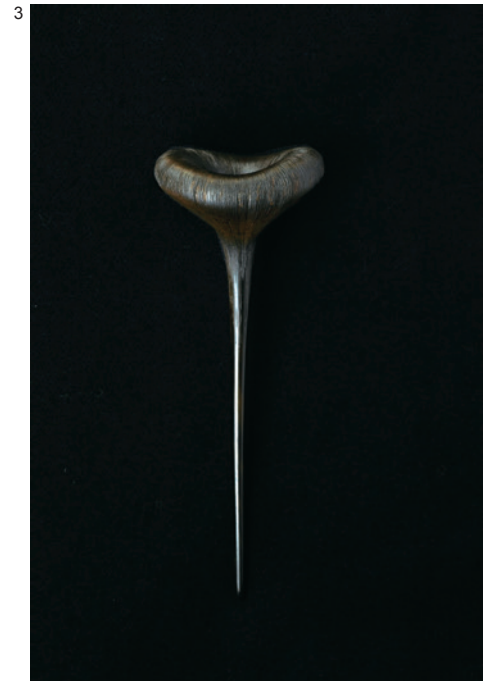


《タイハイスイセン》2010

鹿角、鹿の骨

個人蔵

写真: 渚忠之



《無題》2009

水牛の角、漆

個人蔵



《ゲッカビジン》2010

鹿角、鹿の骨

ロンドンギャラリー蔵